



《日本の美しい朝の光》2011

礼平松 二松 展

箱根・芦ノ湖
成川
美術館
所蔵

日本の美を求めて

入館時間／午前10時～午後5時30分（閉館は午後6時）
 入館料／一般850（650）円、学生400（320）円、小・中学生200（160）円
 ※（ ）内は前売り券及び15名以上の団体、市民カレッジ受講者、JAF会員等の割引料金
 ※前売り券は4月18日（土）迄、美術館窓口及び下記にてお求めいただけます。
 ローソン、ファミリーマート、セブンイレブン、サークルKサンクス各店
 JTB商品番号 0239644
 ※「チケットぴあ」ではお取扱いきません。

主催／公益財団法人廣山宇一記念美術館協会
 共催／青森放送株式会社
 後援／青森県、青森県教育委員会、七戸町、七戸町教育委員会、七戸町文化協会、七戸町観光協会、
 （株）東美日报社、東美日報文化財団、（株）アーリー東北新聞社、（株）陸奥新報社
 協力／前編・芦ノ湖 成川美術館、廣山宇一記念美術館友の会、茶室裏千家七戸会

七戸町立廣山宇一記念美術館
 019-2501 青森県上北郡七戸町字寛徳内 67-94 Tel. 0176-62-5858 Fax. 0176-62-5860
<http://www.tokuyamamuseum.jp/>

2015年4月19日（日）
 ～ 2015年6月30日（火）

会期中無休

七戸町立 鷹山宇一記念美術館

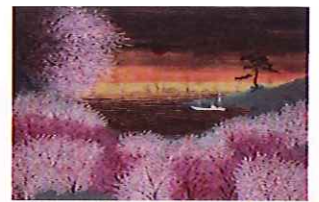
平松 礼二 展

箱根・芦ノ湖
成川
美術館
所蔵

日本の美を求めて



《睡蓮さくら園》2010



《路ーさくら・さくら》1996



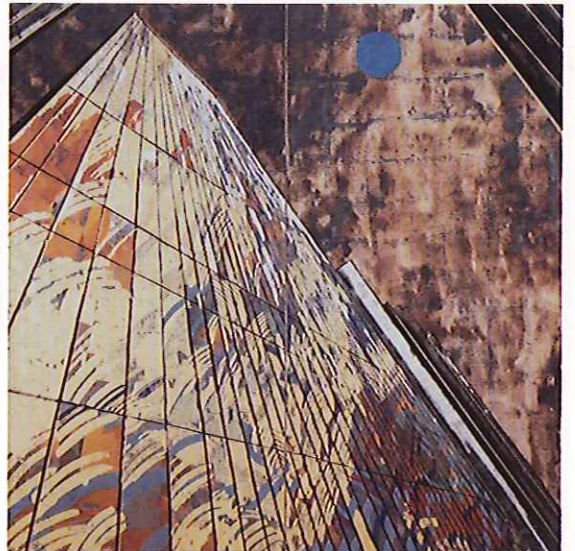
《春情》2012



《路ー静かなる花の宴》1998



《路ー雨に咲く花》1998



《NEW YORK MOON》1994

〔交通案内〕

列車

- 新幹線 | 東京駅→七戸十和田駅 3時間10分
JR 東北新幹線「七戸十和田駅」から徒歩5分
- JR・青い森鉄道「青森駅」からバスで80分

飛行機

- 三沢空港から美術館まで車で40分
- 青森空港から青森駅までバス/タクシーで35分
青森駅からバスで80分
- 青森空港から美術館まで自動車で80分

自動車

- 八戸自動車道・上北自動車道「上北IC」から県道22号線で30分

「道の駅しちのへ」「七戸町文化村」無料駐車場あり

道の駅しちのへ 七戸町文化村

次 七戸町立 鷹山宇一記念美術館

039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 Tel. 0176-62-5858
Fax. 0176-62-5860 <http://www.tokayamamuseum.jp/>

平松礼二（ひらまつ・れいじ）は、昭和16（1941）年、東京都に生まれました。

川端龍子を中心となって、「日本画の新しい時代における革新」を掲げ結成した青龍社の展覧会において、高校生のうちに入選を果たすなど、その画業は早くから評価を得ています。同じく青龍社において精力的に活動していた横山操を師と仰ぎ、昭和41年5月、川端の死に伴い青龍社が解散した後は特定の画壇に属することなく、新しい日本画を求めて常に挑戦する姿勢を貫いてきました。既成の権威や固定した価値観に反発しながらも、日本の美の伝統をみつめつづけた、その膨大な作品群は、時代ごとに多様な展開を見せます。

平成25年には、フランス・ジヴェルニー印象派美術館において大規模な個展が開催され、その観客動員数が同館開館以来の新記録となり、出展作品がすべて同館の買い上げとなるなど、平松の仕事は近年、国内外にて異例の非常に高い評価を受けています。

本展では、箱根・芦ノ湖 成川美術館所蔵作品を中心に、「人間の暮らしと自然の中を歩き続けるうちに、次第に自身の内側から湧き上がってきた」テーマである「路シリーズ」、モネの「睡蓮」との出会いをきっかけとした「ジャポニスムシリーズ」、東日本大震災に対する鎮魂の思いが込められた「日本の新しい朝の光」など、58点をご紹介します。

〔関連イベント〕

①お呈茶 5月2日（土）

先着150名様に、茶道裏千家七戸会によるお呈茶のサービスがございます。

②ギャラリートーク（当館学芸員）5月2日（土）、3日（日）、6月6日（土）、28日（日）各日14時～

当館学芸員が解説をしながら会場を回ります。

申込み不要、当日受付にお集まりください。

③タカビキッズ「みて、はなす！あそぶ！」5月5日（火）、6日（水）、6月7日（日）、27日（土）各日14時～

当館学芸員と楽しく話しながら、会場を回ります。年長さんから小学生くらいまで。

申込み不要、当日受付にお集まりください。